

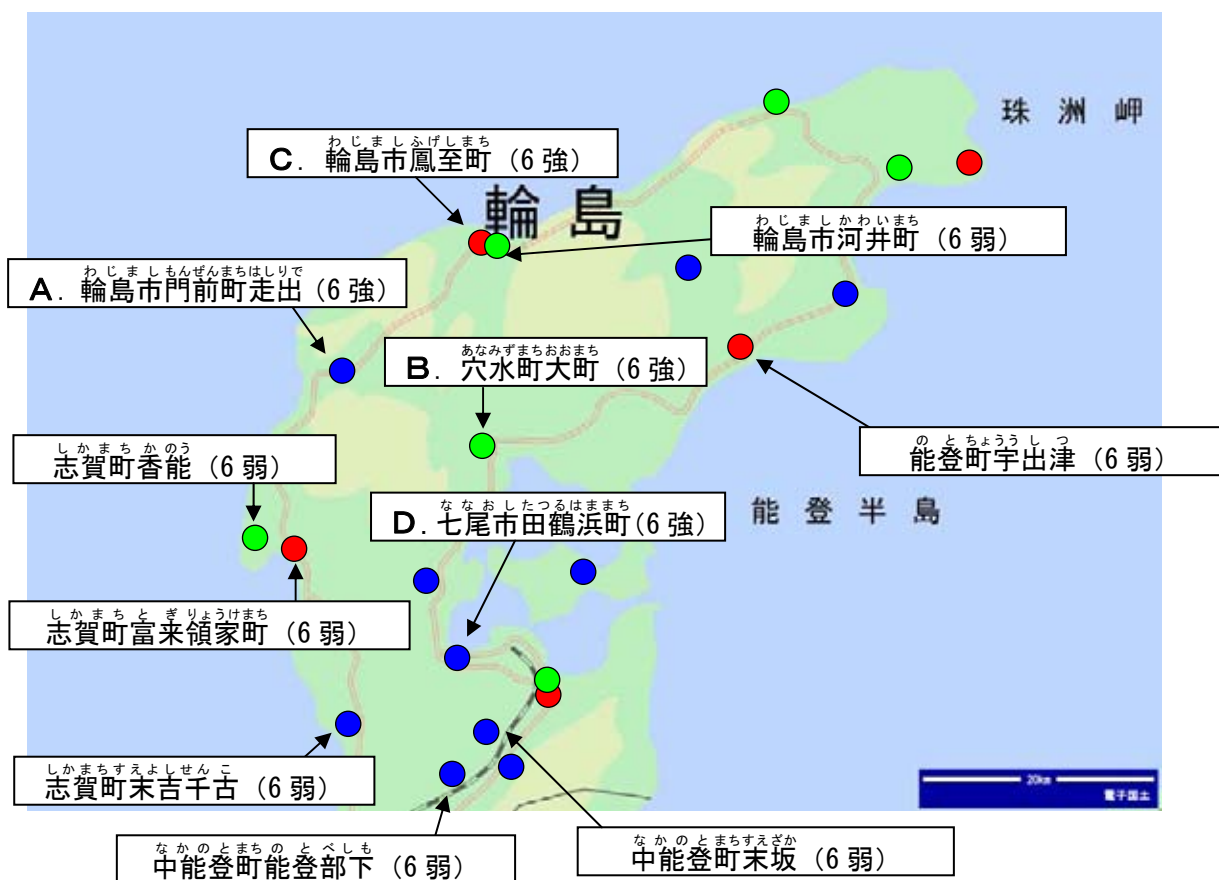
## 平成 19 年（2007 年）能登半島地震 現地調査概要

気象庁は、「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」に伴い震度 6 弱以上を観測した地点を中心に、被害状況を把握すること等を目的として調査を行いました（平成 19 年 3 月 26 日～3 月 28 日、気象庁本庁及び金沢地方気象台等が実施）。その概要は以下のとおりです。

- 震度 6 強、6 弱を観測した地域（震度観測点近傍）では、古い木造家屋の全壊等が見られ、非常に強い地震動になっていたと考えられます。なお、多数の家屋が集中して全壊したような地域は見られませんでした。
- 地面のひび割れ等が見られるなど正確な震度観測が出来なくなる観測点があったことから、気象庁、石川県、輪島市および七尾市は協力して臨時の震度観測点（輪島市門前町、七尾市田鶴浜町）を設置しました。

※ 以下「国土地理院 25000 分の 1 地図画像」を使用

現地調査箇所



震度観測点の所属（●：気象庁 ●：石川県 ●：防災科学技術研究所）

A. 輪島市門前町走出 (6強)



写真 (No. 1)



写真 (No. 2)



写真 (No. 3)



写真 (No. 4)



写真 (No. 5)



写真 (No. 6)



写真 (No. 7)



写真 (No. 8)

B. 穴水町大町（6強）

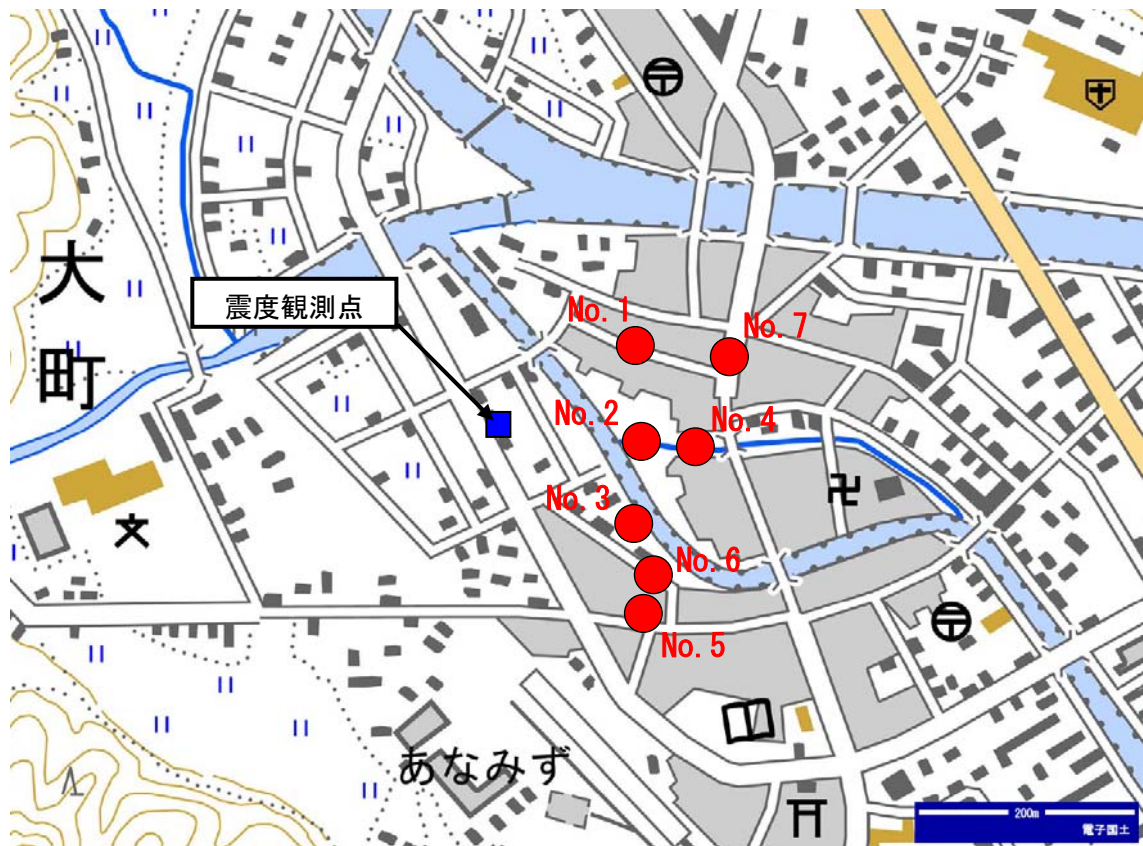


写真 (No. 1)



写真 (No. 2)



写真 (No. 3)



写真 (No. 4)



写真 (No. 5)



写真 (No. 6)



写真 (No. 7)

C. 輪島市鳳至町（6強）

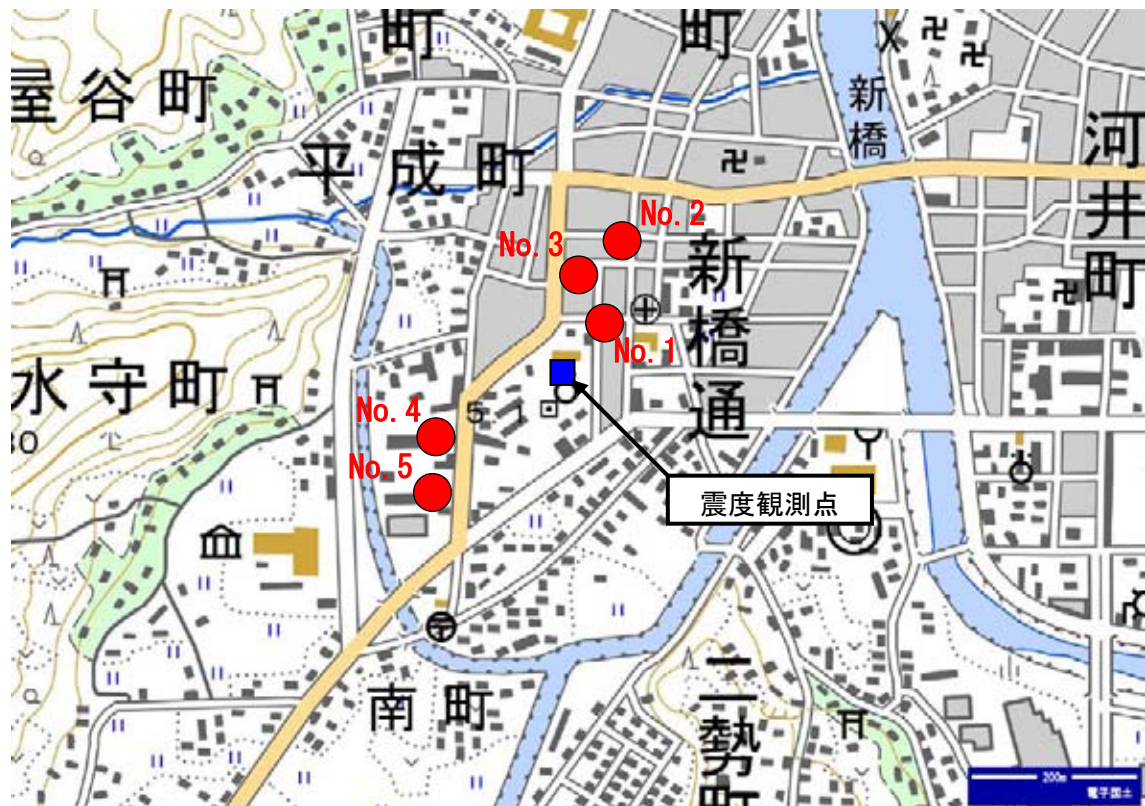


写真 (No. 1)



写真 (No. 2)



写真 (No. 3)



写真 (No. 4)



写真 (No. 5)

D. 七尾市田鶴浜町 (6 強)

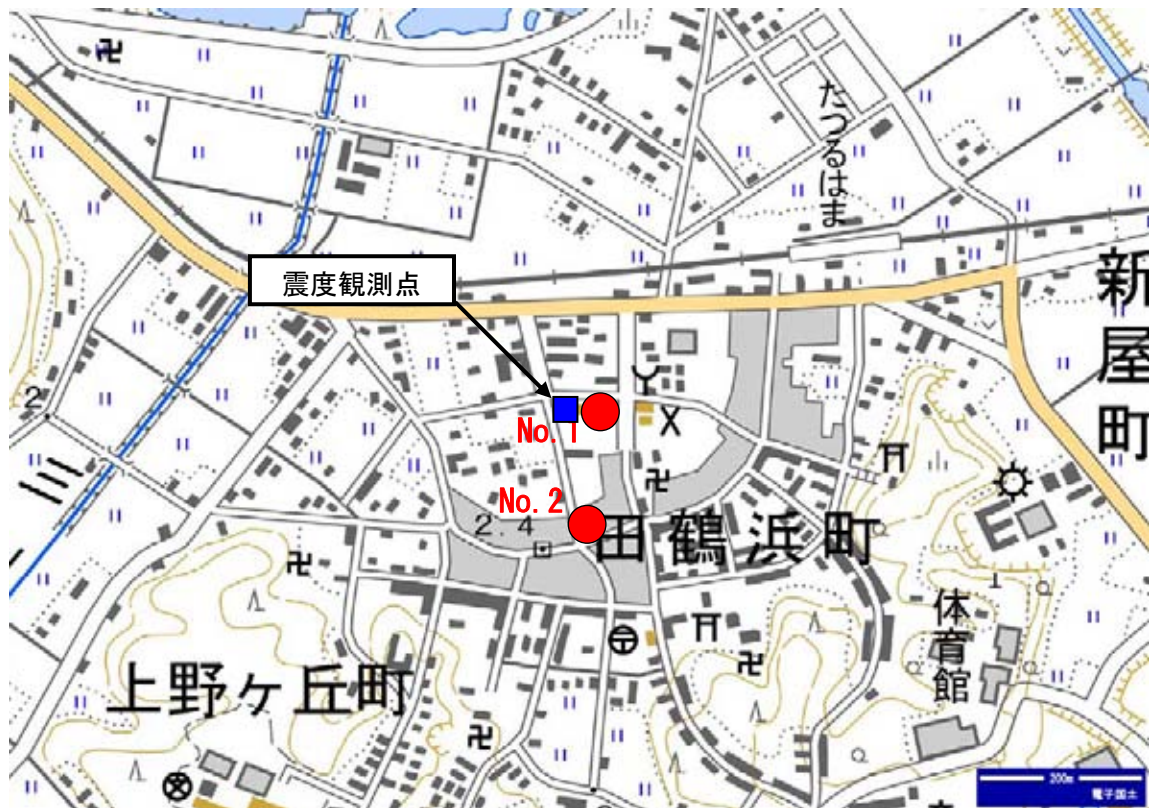


写真 (No. 1)



写真 (No. 2)